

3/9

地域活動が評価され 紫波町消防団に栄誉



(左から)女鹿廣副団長、熊谷町長、阿部団長、小田中光雄副団長

紫波町消防団(阿部秀夫団長)は、日本消防協会から優良消防団(竿頭綬)を授与され、熊谷町長のもとを訪問しました。平成18年度に授与されて以来、3度目の授与となります。さらに、地域に密着した活動で地域防災力の向上に寄与した消防団に贈られる「消防団等地域活動表彰」を初めて受賞。阿部団長は「これからも消防団の存在や活動を知ってもらいながら、地域の皆さんと連携しながら活動を充実させたいです」と意欲を新たにしました。

3/3

山の魅力を語る 紫波×山トークショー



岩手の山の魅力を伝えるラジオ番組で共演している阿部さん(左)と浅見さん(右)

町は昨年、東根山の魅力を知ってもらい、活用につなげようと「あづまねイ山イ湯だなプロジェクト」を立ち上げました。この一環として広く東根山の魅力をPRしようと、情報交流館で「紫波×山トークショー」を開催。版画家で登山家の阿部陽子さんとIBC岩手放送アナウンサーの浅見智さんが登山の魅力を語りました。参加した約200人に対し、阿部さんは「山は生き物と同じで日々状況が変化しています。山で知り合った人と一緒に自然を満喫できるのが登山の魅力。紫波のシンボル東根山をみんなで守っていくために、私も登山をする形で協力していきたいです」と話しました。

3/11

東日本大震災から7年 思いを灯りに込めて



一つ一つに明かりを灯す参加者

オガール地区で「2018東日本大震災追悼夢灯り」が開かれ、約600個の夢灯りが辺りを光で包み込みました。町内有志による実行委員会(橋浦栄一実行委員長)が中心となり、紫波総合高校の生徒やガールスカウトなど約70人が参加。犠牲者や被災地の方々に心を寄せながら、色とりどりの夢灯りに火を灯しました。ガールスカウトとして参加した星山小学校4年の工藤悠さんは「震災で犠牲になった方々や見つかっていない人の家族のことを考え、自分がその立場だったらと考えます。月日が経っても、震災のことを忘れないようにしたいです」と語っていました。

3/11

声を上げる勇気 受け止める勇気が 男女共同参画社会への一歩



「社会で生きにくさを感じる人が住みよい町であってほしい」と話す柘咲さん

町は、情報交流館で男女共同参画セミナーを開催しました。約80人の参加者を前に、女性自治公民館長の松岡拓子さん、女性農業者の大森友紀子さん、シルバーリハビリ体操指導者の長谷川良久さん、LGBT(※)当事者の柘咲さんが自身の活動を通じての思いや気付きなどを発表。「世の中には『自分は差別されている』と言えない人、堂々と生きることができない人がたくさんいます。これは当事者だけの問題ではないので、周囲が『知りたい』と声を上げ、当事者に寄り添うことが大切です」と話す柘咲さんのお話に、参加者はうなづきながら聞き入っていました。
※LGBT…L…レズビアン、G…ゲイ、B…バイ(両性愛者)、T…トランスジェンダー(心と体の性が異なる)の頭文字をとったもので、同性愛や性別違和など性的少数派の総称

100歳おめでとう

町内の100歳以上のご長寿は橋本さん、竹原さんを含めて19人です。
(3月31日時点)

3 / 28

竹原 ハルノさん(志和)



熊谷町長(右)から花束を受け取ったハルノさん(右から2番目)と孫の功雄さん(左)、ひ孫の千夏さん(左から2番目)

若い頃はお話することが好きで、何でもよく食べ、朝から晩まで農業に従事していたという竹原さん。入所する施設でお祝い会が開かれ、家族や入所者、職員からたくさんの「おめでとう」の言葉を受けました。「身内が100歳まで生きることができるとは、驚きとともに不思議な感じです」と孫の功雄さん。熊谷町長は「大正から平成まで激動の時代を生き、100歳を迎えられたことは家族にとっても大きな喜びだと思います。おめでとうございます」とお祝いの言葉を述べました。

3 / 10

橋本 トシ子さん(佐比内)



熊谷町長(左)から花束を受け取ったトシ子さん(中央)と孫の芳男さん(右)

くよくよせずにのんびりすることが長寿の秘訣という橋本さん。3月12日に、入居する盛岡市の施設で家族や利用者、職員からお祝いを受けました。若い頃は話すことが好きで、農業に携わる一方、家庭菜園や花を育てたりしていたといいます。熊谷町長からお祝いの言葉とともに花束を受け取ると「ありがとうございます」とはきはきとした声で感謝を伝えました。孫の芳男さんは「これからものんびりと穏やかに過ごしてほしいです」と思いを話しました。

3 / 17

東京藝術大学器楽科有志が華やかな演奏で観客を魅了



アンコールではピアノ1台を4人で演奏しました

野村胡堂・あらえびす記念館であらえびすリレーコンサートが開かれました。第1部は公募参加者によるコンサートを開催。不来方高校音楽コースピアノ専攻の8人がリレー形式で演奏を披露しました。第2部は東京藝術大学器楽科有志によるコンサートを実施。有森博さん、掛谷優太さん、間世田采伽さん、高野泰輔さん、長瀬賢弘さんがソロや連弾で演奏を披露。来場した勝山穂乃花さん(石鳥谷中2年)は「東京藝術大学の皆さんの演奏は力強く、曲に感情が込められていて、表現力が素晴らしいと思いました」と刺激を受けていました。

3 / 17

町の歴史や遺跡に触れる町発掘調査報告会・文化財セミナー



「渡船場で働く船頭さんたちが365日天候に関わらず皆さんの暮らしを支えてきたことを覚えていてほしいです」と話した長澤さん

町発掘調査報告会・文化財セミナーが情報交流館で開かれ、約50人が参加しました。町文化財調査委員の長澤聖浩さんが「『北上川渡船場物語』から見てくる地域の歴史」と題して講演。「町ではかつて渡し舟が町の東西をつないでいました。橋の歴史の前身には渡し舟があったことを知り、東西をつなぐ橋のありがたさをかみしめてもらえれば」と話しました。続いて町文化財専門員の鈴木賢治さんが平成29年度に発掘調査を実施した杉の上Ⅲ遺跡、南日詰大銀Ⅱ遺跡の調査結果を発表。その後、町内で郷土史関係の活動を行う10団体がそれぞれの活動を発表しました。